

チャンスチャレンジ

奨学金貸与制度のご紹介

芳香会では皆さんの学が意欲を応援する為に平成九年度より奨学金貸与制度を実施しております。この制度は准看護師・看護師・理学療法士・作業療法士その他芳香会が認めた資格取得が対象になります。今回、この制度を利用して、卒業、目標を達成し、現在活躍している三名の職員、そして現在資格取得を目指している二名の職員を紹介致します。次の項目についてインタビューをしました。

卒業して、活躍している職員

なぜ働きながらも学びたいと思ったか
自分を支えたこと 卒業して今思うこと
皆さんへのメッセージ



青嵐荘療育園 看護師 新関翼

小児期の入院体験と祖父母の闘病生活をみて人と直に接して役に立つ仕事があったのと、また、自分で使うお金は自分で稼ぐという気持ちが強かった。なのでこの道を選びました。遊びと勉強のメリハリをつけました。また、周りの先輩や同期が支えになりました。仕事で疑問に感じた事が授業で解決されたり、授業が即現場で使えたり、机上で学ぶより覚えようとする意識が高まり、楽しく学ぶ事が出来ました。興味のない授業もありましたが、幅の広い知識を持つことで視点が広がるので、より多くの情報が集め

られ、分析判断を的確にしたり、柔軟に考えられるようにもなります。学校で基礎を学べて良かったです。 人間生進学習です。同級生に五十歳の方がいました。学校に行くに費用がかかりますがその為に諦めないで下さい。奨学金貸与制度なら、学費は奨学金で、生活費はお給料が出ます。今ある制度を最大限に利用してやりたい事を実現して下さい。

青嵐荘療育園 作業療法士 佐々木亜吉



介護職として働き三年が経ち、介護以外に出来ることを考えていた時、奨学金貸与制度と以前より興味のあった作業療法士資格取得のお話を頂きました。同じ目標に向かっていく仲間と熱心な先生がおり、楽しく学ぶ事が出来ました。私にとって作業療法士になって戻れる場所がある、という事は大きかったです。ご利用者にとつ

てのより良い生活を考えて行きたいです。たくさん「楽しいこと」を感じられる生活が送れるよう、他職種と連携してお互いに専門性を生かしたアプローチをしていくことが大切だと思います。 意欲があれば、年齢は関係有りません。興味を持ったことであれば大変でも乗り越えられるし、周囲も同じ目標を持った人達なので楽しく有意義な時間を過ごせます。頑張ってください。

青嵐荘ケア・アシスタンス支援相談員 酒寄学

相談員として奉職し、仕事の重みと自分の知識・技術の乏しさを痛感し、一年目から自己学習を行っていたつもりでしたが、独学の限界を感じ、再度学校で高度なレベルの知識を身につけたいと強く思い大学院進学を決心しました。

【最近5年間の奨学金貸与制度利用育成者数】

	看護師	准看護師	理学療法士	合計
H16年度	4人	2人	-	6人
H17年度	4人	4人	-	8人
H18年度	3人	3人	-	6人
H19年度	4人	3人	1人	8人
H20年度	2人	8人	1人	11人
合計	17人	20人	2人	39人



睡眠時間が三時間程度、身体的には辛かったです。新しい事を学べる楽しさで精神的には充実していました。「精神力で乗り越えた」と感じます。職場の上司・同僚、学校の仲間、そして家族の支えがなければ未だに卒業できていなかった。同級生には様々な年齢や経

ことでしょ。 歴史の方がおり、人はいくつになっても学びを継続しないといけないし、成長出来る事を知りました。「幸運に後髪はない」という言葉を頂きました。もし今、進学する為の条件が整っているという「幸運」が訪れているのなら今掴んでおかないと、その「幸運」がいつまでも続く訳ではなく、機会を逃してしまふ事もあります。思い立ったが吉日、行動を起こしましょう。

資格取得目指して勉強中です

なぜ働きたがらでも学びたいと思ったか
卒業後の夢

青嵐荘療育園 塚原直美准看護師

高等看護専門学校二年（三年制）



幼い頃から看護師に憧れと尊敬を抱き、患者様に必要とされる存在感のある看護師になりたいと思っていました。准看護師として一年間経験を積んだ後、日々の看護の進歩・発展による新しい医療と看護を学ぶ為、さらに上を目指す為の第一歩として学校に通っています。必ず国家資格試験に合格して看護師免許を取得し、奨学生として相応しく恥の無い立派な看護師になりたいです。

青嵐荘ケア・アシスタンス宮川誠

理学療法士養成専門学校三年（四年制）



芳香会に就職し、初めて理学療法士（PT）という職種を知りました。父親が脳梗塞で倒れたのをきっかけにリハビリテーションについて考えるようになり、ケアへの配属で理学療法士の仕事を毎日見ているうちにさらに興味が深まりました。既に家族もおり、仕事を辞めて学生になる事は出来ず、この制度を利用し、かつ昼間は働いて収入を得えながら資格を取ることを選びました。地域の方から「あそこの施設はリハビリ頑張ってるんだよね」と言って頂けるようになりハピリ専門職になりたいと思っています。

若さと好奇心 『看護の日』

芳香会では、私たちの事業の内容や、事業の中心である介護職や看護職の業務の内容を知っていただき、進路選択のお役に立つことを目的として、高校生や大学生、専門学校生などを対象とした様々な取り組みを行っております。

そして、その中の一つが芳香会病院青嵐荘療育園の看護師が中心になって行っている職業体験イベント『看護の日』です。今回で三回目を迎えました。

このイベントは、近代看護を築いたフロレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、平成二年に当時の厚生省により毎年五月十二日を「看護の日」と制定されたことに基づき、「看護の日」の前後の土・日曜日を利用し行っております。今回は、五月十日（土）に高校生を対象に行いました。



約五時間のイベントでは、参加した四名の高校生にも実際に白衣を着用していただき、「救急蘇生法」や「血圧測定」「注射」「肺活量測定」などの医療体験のほか、「車いすでの移動介助」や「体位交換」などの介護体験、「AED（自動体外式除細動器）」や「人工呼吸器」



に関する講習を行いました。また、参加された学生のほとんどは看護師志望であったため、看護師に関する法律や制度、医療機関と施設看護師に課せられる役割の違いなどについても学んでいただきました。



今回参加していただいた学生の中には一昨年の第一回の時に参加された方もおり、今回は少人数であったため一つひとつの体験を時間をかけて行うことができ、たいへん満足していただけた様子でした。また、アンケートでは初めて参加していただいた方からも「今まで以上に看護職に興味を持った。」「次回も参加したい。」「との声が寄せられ、実施翌日には高校の先生からもお電話をいただき、将来の進路選択のお役に立ってたようでした。

芳香会では、今回特集した『看護の日』や『奨学金貸与制度』のほか、第二号で取り上げた『高校生インターンシップ』などを通じ、これからの社会福祉や介護、医療を担っていく人材の育成に力を入れております。そして、このような取り組みが芳香会の事業の充実のみならず、地域の皆様方の安全や安心感のある生活につながっているものと確信し、今後引き続き人材育成活動の充実を図っていきたいと考えております。

